

# ようじえんだより 2018年度1月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地  
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

## 1月主題『夢中になる』

主題聖句：求めなさい。そうすれば、与えられる。

マタイによる福音書7章7節

☆ 0～2歳児：日々の生活の中で祈ろうとする。伝承遊びに親しみ、よく見てかかわって楽しむ。

☆ 3～5歳児：神さまのお守りを願い、共に祈りながら過ごす。好きな遊びに深くかわかり、心ゆくまで楽しみ、自分なりに納得したりコツをつかんだりする。健康に過ごすために必要な身のまわりのことを、自分から行うようになる。

### 猪突猛進というけれど・・・

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

亥年ゆえか、年賀状に「猪突猛進」という言葉が多く見られました。いのししのように脇目も振らず一直線に進むことですが、辞書で調べてみますと「周囲の人のことや状況を考えずに、一つの目標を目指して猛烈な勢いで突き進むこと」「目標に対して、向こう見ずに行動すること」とありました。要するに良い意味でつかわれることは、あまりないようです。

特にこの「猪突猛進」が人間関係で表れる時、猛進される方はなかなかしんどい思いをすることになります。特にわが子において愛情を注ぐ意味で猛進することがあるのが親というものですが、親子関係や人間関係においては、どこかで冷静さを持ち合わせることの重要性を思います。

### 横の関係を大切に

今、子育ての世界においても「アドラー心理学」が静かなブームです。アドラーはオーストリア出身の精神科医であり心理学者ですが、彼

の思想を子育てに応用しようとする人たちが増えているのです。アドラー心理学を子育てに応用する際、肝となるのは「横の関係を大切に」ということです。

たとえば、今は「ほめて育てる」という考えが多くあります。怒られ過ぎよりはマシだと思いますが、アドラー心理学によると「ほめて育てる」のはあまり良くないそうです。たとえば長時間お留守番ができた子どもをほめることがありますが、それを夫婦間でもするのでしょうか。パートナーに対してしないことを子どもにだけするのは、上下関係を持ち込んで「評価」していることになるのだそうで、それでは子どもは評価をもらうために行動するようになり、それは「調教」と大して変わらない、とアドラー心理学では考えるのだそうです。

「あなたはあなた」「わたしはわたし」「他者になり替わることは親でもできない」。でも違う個性が互いに寄り添い、認め合い、時には「違うと思う」と意見しつつ、それでも大切な仲間として生きていくことに意義があると、私はアドラー心理学から教えられました。 園長：久保田愛

## 年間主題『イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で～』

主題聖句：愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。

新約聖書 ヨハネの手紙I 4章11節

策